子ども目線に立つ「まなざし」が 生みだす学びと表現

2025年 12/26_(金) 10:15-16:30 @北とぴあ 詩とアートの実践は、子どもたちの「感じる」「考える」「つくる」をいかに育むのか。本会では、石井順治・ひぐちけえこによる新著『詩とアートが"ほんとうのたべもの"になるとき』(世織書房)の刊行を機に、授業実践・映像・対話を通して「子ども目線に立つまなざし」の意味を探究します。授業記録の視聴、学校種を超えた対話、そして著者対談を通じて、教育における〈学びと表現〉をともに考えましょう。

詩とアートが

'ほんとうのたべもの''になるとき ~読むことと描くことをつなぐ~

石井順治 & ひぐちけえご

登壇者







東海国語教育を学ぶ会 顧問

画家

広島大学 特命助教

石井 順治 ひぐち けえこ

宮島 衣瑛

第1部 授業をふりかえる

- 授業とレッスンについて
- 授業動画視聴
- グループ協議

第2部 アートを味わう

ワークショップ(ひぐちけえこ)

第3部 全体協議

● 学校種を超えたトークセッション(宮島衣瑛)

第4部 朗読

- 物語<こうすけと『やまなし』>また同語#☆ま☆ ※☆ ☆ ☆ /
 - 東海国語教育を学ぶ会 会員・他

第5部 対談

• 石井順治×ひぐちけえこ

詳細情報

イベント日時 2025年12月26日 (金)

世織書房

10:15~16:30 (09:45 開場)

場 所 北とぴあ 第二研修室

東京都北区王子1-11-1

対象教育関係者・大学生・院生

参加費 一般 1,000円

学生 500円

お問い合わせ info@inpw.jp

お申し込み 公式Webサイトより

